

抱き合うだけではまだ足りぬ

作・木村繚真

〈登場人物 女性3・男性1〉

奥原 里帆

結奈

鞍手 藍

寺田

立方体が幾つか点在している。

幻想的なもやの中、

四散した者たちが自由に動作を伴いながら言葉を発していく。

里帆 おはよう

結奈 行ってきます

鞍手 いただきます

寺田 ごちそうさま

里帆 おめでどう

結奈 ありがとう

鞍手 ごめんなさい

寺田 おつかれさま

里帆 おやすみなさい。

結奈 この世には、常識ってものがある

鞍手 否応なしに押し付けられて

寺田 いつものまにやら刷り込まれていて、

里帆 人のものを

結奈 壊さない

鞍手 盗まない

寺田 奪わない

里帆 傷つけない、

結奈 悪口を言わない

鞍手 言いふらさない

寺田 デブ

里帆 バカ

結奈 キモ

鞍手 ハゲ

寺田 死ね。

里帆 嫌がることをしない

結奈 いじめない

鞍手 無視しない

寺田 殺さない

里帆 そんなことはしない

結奈 そんなことは言わない、って

鞍手 本当ですか？

寺田 花を植えよう

里帆 草はむしろ

結奈 ケンカするな

鞍手 差別するな

寺田 空気を読んで

里帆 周りに合わせろ

結奈 ルールを守って

鞍手 ゴミはゴミ箱

寺田 トイレは綺麗に

里帆 屋上は閉鎖  
結奈 廊下は走るな  
鞍手 図書室では静かに、  
寺田 いえーい！  
ほか シーツ！  
寺田 ……。  
里帆 朝起きる  
結奈 顔を洗う  
鞍手 歯を磨く  
寺田 制服を着る  
里帆 遅刻をせずに  
結奈 学校へ行く、  
鞍手 前髪  
寺田 靴下  
里帆 スカートの丈  
結奈 校則違反にならないように  
鞍手 正しい生徒でいられるように  
寺田 でも、  
里帆 先生は鼻屑する  
結奈 先生は不公平、  
鞍手 お気に入り  
寺田 落ちこぼれ  
里帆 優等生  
結奈 出来損ない  
鞍手 生徒には  
寺田 「ありがとうございます」

---

里帆 「お願いします」  
結奈 「ごめんなさい」  
鞍手 と言わせておいて、  
寺田 先生は言わない。  
里帆 上から目線で  
結奈 話を聞かない  
鞍手 誰かと比べる  
寺田 名前じゃなくて「お前」って呼ぶ。  
里帆 すぐ怒る  
結奈 偉そうに  
鞍手 長話  
寺田 若作り  
里帆 近い（身体的距離が）。  
結奈 私たちを知らない、  
鞍手 明るく振舞う  
寺田 おどけて笑う  
里帆 暗いと嫌われる、  
結奈 学校での自分  
鞍手 家での自分  
寺田 一人のときの自分  
里帆 全部ぜんぶのゼンブが私。  
結奈 大人は、嘘つき。  
鞍手 身勝手  
寺田 不純  
里帆 強欲  
結奈 保身、

鞍手 勉強しろ  
寺田 うるさい  
里帆 進路はどうする  
結奈 うるさい！  
鞍手 過保護で  
寺田 いつまでたっても  
里帆 産まれたばかりの  
結奈 赤ん坊、  
鞍手 寂しがり屋の  
寺田 甘えん坊。  
里帆 おぎゃあ  
結奈 おぎゃあ  
鞍手 おぎゃあ  
寺田 おんぎゃああああ！  
里帆 呼吸  
結奈 酸素  
鞍手 お母さん  
寺田 はさみ  
里帆 へその緒  
結奈 絆  
鞍手 時間は流れる、  
寺田 泣いて  
里帆 笑って  
結奈 おっぱい飲んで  
鞍手 眠って  
寺田 目覚めて

---

里帆 また泣いて、  
結奈 歯が生え  
鞍手 ハイハイ  
寺田 進んでく、  
里帆 食べて  
結奈 喋って、  
鞍手 聴いて  
寺田 見つめて  
里帆 歩いてゆくんだ、  
結奈 でも  
3人、結奈を見る。  
里帆 なに？  
結奈 本当に、当たり前？ 食べたり、喋ったり、見たり聴いたり歩けることって。  
問  
寺田 違う  
鞍手 うん  
里帆 当たり前じゃない  
結奈 そうだよね  
里帆 そもそも、生きるって当たり前？  
鞍手 死ぬのは、当たり前  
結奈 どこまでが常識で、当たり前？

寺田「当たり前」

結奈「当たり前」

鞍手「当たり前」

里帆「当たり前」って、なんだ？

寺田 よーい

里帆 え？

ほか どん！

里帆以外、走り出す。

里帆 えっ、何どうしたの

寺田 こらー奥原ア！

里帆 え？

寺田 廊下を歩くなア！

結奈 ほら行こう

里帆、戸惑いつつ走り出す。

鞍手 先輩おはようございまーす！

結奈 おはよー！

鞍手 先生おはようございまーす！（去っていく）

寺田 おーう！いい天気だなーッ、実に清々しい

里帆 あのっ、先生ー！

寺田 なんだ奥原アー！

里帆 なんで走ってるんですかー？

寺田 なんでって、ここは廊下だぞー？

里帆 廊下、廊下は走っちゃいけないんじゃないですかー？

寺田 なんでー！

里帆 え？ なんでって……（歩く）

鞍手、全速力で箒を滑らせて走ってくる。

結奈 里帆ちゃん危ない！

里帆 え

里帆と鞍手、ぶつかる。

里帆 いてて

鞍手 危ないじゃないかキミ！ 廊下を歩くなんて！

里帆 え、あ、ごめんなさい

寺田 どうしたんだ

鞍手 この子が廊下を歩いてて

寺田 ぶつかったのか

鞍手 はい

寺田 まったく高校生にもなって。廊下は歩くな、小さい頃に教わったろ？

里帆 はい……

寺田 ぶつけたか？

里帆 いえ

寺田 気をつけろ

里帆 すみませんでした。

寺田、走り去ろうとしたところ、

正面からチリトリを持って走って走ってくる結奈。  
2人は進路を数度譲り合うが被り、カバディ状態に。  
結局ぶつかる。

里帆 ねえちよつと、コレなんなの？

寺田 検証だよ

里帆 検証？

寺田 俺たち4人で「当たり前」を定義する！

鞍手 なんて

寺田 なんてって、気持ち悪いだろ。何が当たり前か分からないと。

里帆 なんだそれ

結奈 ハイハイ！

寺田 なんだ

結奈 廊下はね、走っちゃ危ない。

ほか うん、間違いない。

寺田 よっしゃ、じゃあお前ら、ほかになんかあるか？

里帆 当たり前のこと？

寺田 おう

鞍手 例えば？

寺田 じゃあ、こっちは右か？

結奈 うん

寺田 こっちは左か？

結奈 うん

寺田 「当たり前」のように思うだろ？

結奈 違うの！？

鞍手 みんなからしたらこっちは左で、こっちは右ってことでしょ？

寺田 その通り。

結奈 ねえみんなってなに？

鞍手 みんなってみんなよ

結奈 あー、お客さんか

寺田 だがしかしだな、こう言い換えたらどうだ？ 上手と下手

里帆 なんか卑怯

寺田 卑怯じゃないッ

結奈 うえとした。奥と手前？

寺田 そうそう

鞍手 私は日本人？

寺田 そうだ

鞍手 アメリカでアメリカ人が私を見てもそう思う？

寺田 思う！

鞍手 そうかなあ

寺田 ほら、ほかにもないか

里帆 えー

結奈 あ、ハイハイ！

寺田 はい！

結奈 「授業中寝ない」！

チャイム

鞍手 はい、みんな席についてー

結奈 起立ー。気をつけー。礼ー

生徒 お願いしまーす

結奈 睡眠ー

ほか  
はい

生徒3人、着席して寝る。

鞍手 はい、前回の続き教科書5032ページ開いてー

寺田、起きて教科書を開こうとする。

鞍手 寺田ー

寺田 はい

鞍手 授業中起きるな

寺田 え、でも教科書開けて

鞍手 睡眠学習だ

寺田 効果あるんですか!?

鞍手 ある

寺田、いびきを立てて寝る

鞍手 ハイ。前回やった平面ベクトル。覚えてるー? 支点A、終点

Bのように、位置、向き、大きさのある線分を有向線分という。

有向線分で、その向きと大きさだけを……

里帆 せんせい

鞍手 ん?

里帆 うるさくて眠れませーん

鞍手 ああ、そっかそっか、ごめんね。そうだよね、授業は静かにや

ろうねってオーイ!

寺田 なんだよ

鞍手 ムナシイ

里帆 誰も聞いてないもんね

鞍手 せめて聞いてください

寺田 でも山田の授業ってこんなんだろ

ほか 確かに

結奈 つらくないのかな山田先生

ほか さあ

里帆 こっちとしてもさ、寝てなきやいけないって逆にづらい

寺田 体育も寝てないといけないのか!

結奈 はいバドミントンしまーす

全員 はい

4人、横たわる。

間。

鞍手 あのさ

寺田 おう

鞍手 バカみたいじゃない?

4人、颯爽と起きる

里帆 そもそも睡眠学習って意味ある?

鞍手 ないでしょ

結奈 ないのかー

寺田 俺たちの未来に関わる。授業は寝たらいけない!

里帆 当たり前だよ

ほか あ

里帆 え？ あ

4人 当たり前。

寺田 よーし、じゃあもつと欲望剥き出しでいってみよう！

鞍手 じゃあ（拳手）

寺田 お、ノってきたな

鞍手 服装指導！

鞍手と里帆、髪をほどいたり服装を乱す。

寺田もちやらくする。

結奈 え、みんな何してるの

鞍手 ちよ、結奈スカート長いー

里帆 マジださいんですけどー

結奈 そうかな？

寺田 おうおう、その可愛い子ちゃんたちー。俺とニャンニャンしようぜー

鞍手 間に合ってますー

寺田 またまたー

里帆 その顔でナンパとか超ウケるー

寺田 んだとコラー？

鞍手 耳遠いんかコラー

里帆 耳かきすれば？

寺田 してるわ！

里帆 ママのお膝でー？

鞍手 きもーい

寺田 んなわけねえだろ、パパだわ！

間

鞍手 あのさちよつと待って

寺田 なんだよ

鞍手 それほんど？

寺田 なが

鞍手 お父さんに耳かきしてもらってるの？

寺田 おう

鞍手、里帆、結奈、3人だけでひそひそ話す

寺田 おい、なんだよ

里帆 あ、ううん。なんでもないです

寺田 おい

結奈 え？ うんー、いやあ、ハイ

寺田 いや違うからな？ 別に俺はフアザコンとかじゃないからな！

鞍手 大丈夫大丈夫。みんなも色々あるから

寺田 色々ってなんだよ

鞍手 中2まで親と寝てた

寺田 ふーん

里帆 中1まで親とお風呂に入ってた

寺田 お父さんと？

里帆 ううん、お母さん。

結奈 私今も入るよ、お父さんと。  
ほか えっ  
結奈 背中流しっこする  
寺田 客席の皆さん事案でーす！  
鞍手 高校生の娘さんとお風呂に入っているお父様ー！  
里帆 いらっしやいましたら舞台上へどうぞー！  
結奈 えー、変なの？  
鞍手 うんちよつとやめた方がいい。ね？  
寺田 おう、それはちよつとヤバイ。  
里帆 どこ見て言ってるの（はたく）  
結奈 じゃあみんなはいつまで入ってたの？  
鞍手 わかんないけど小学生かな  
結奈 え  
鞍手 あんたは？  
寺田 ……中3  
結奈 誰と？  
寺田 ……母親  
里帆 客席の皆さん事案でーす！  
鞍手 中3男子とお風呂に入っているお母様ー！  
結奈 いらっしやいましたら舞台上へどうぞー！  
寺田 あのな、俺が望んだんじゃないからな！  
鞍手 断れよ  
寺田 いや、かわいそうだろ  
里帆 マザコン？  
寺田 違う！  
結奈 でも嫌じゃないんだよね？

寺田 まあな  
鞍手 今は違うんでしょ？  
寺田 ……  
里帆 まさか  
寺田 違う違うチガウ、たまに！ たまにな！  
女子、引く。  
寺田 いやいやいや、お前まで引くな！  
結奈 マザコン…  
寺田 お前はファザコンだろうが！  
結奈 違うよ！ お父さんが勝手に入ってくるんだもん！  
ほか ……  
里帆 110番？  
鞍手 児童相談所？  
寺田 待てよ、家庭の事情だろ？  
結奈 いいつ、今日からやめる。  
里帆 えらい  
鞍手 寺田もやめな？  
里帆 引き返せなくなるよ  
寺田 依存症か俺は！  
鞍手 違うの？  
寺田 おれんちだつてあつちが勝手に…  
里帆 ハイハイ、もうさ、趣旨がズレちゃってるから  
鞍手 戻そう  
寺田 ったく。服装指導だったな



鞍手 うん

寺田 おうおう、その可愛い子ちゃんたちー。俺とニヤンニヤンしようぜー

里帆 いいよお？

鞍手 どこいくー？

寺田 とりまゲーセン

里帆 いくいくー

鞍手 結奈も来なよー

結奈 ……

里帆 結奈？

寺田 いいよいいよ、そいつなんかダセえし。3人で楽しもうぜ

結奈 不健全だ…

寺田 あ？

結奈 ちゃらちゃらして、いちやいちやして、そんなの不健全だ！

結奈、わちゃわちゃと暴れる。

結奈 うわああああん！

寺田 おい落ち着け！

結奈、寺田を殴る（スローモーション）。

寺田、吹き飛ぶ。

結奈は鞍手と里帆に抑えられる。

結奈 私だって、私だってさ、なんか嫌だなんて思ってたんだよ？

でも今までそうしてきたし、断りたくもないし、どうしたらいい

いか分かんなかったんだよ……。

里帆 お風呂の話？

結奈 （頷く）

鞍手 嫌だと思えば、拒否していいんだよ。結奈の好きにしているんだよ

寺田 そんなの当たり前だろ？

女子3人、寺田を見る。

バツの悪い寺田。

寺田 だから、作ったらいいんだよ、もっと大きな「当たり前」を。

そしたら誰も迷わないし困らない。「当たり前」が人それぞれ

なんて、そんなの「当たり前」って言わないだろ？

鞍手 言いたいことはわかるけど……

寺田、里帆を見つめる。

里帆 なに

寺田、無言で近づいていく。

後ずさる里帆。

寺田、正面から里帆の両肩に手を置く。

緊張が走る場。

寺田 生きてるよな。

里帆 は？

寺田 生きてるよな？  
里帆 当たり前じゃん。  
寺田 お前らも、生きてるよな？  
鞍手 たぶんね。  
寺田 たぶんじゃない、絶対だ。人間だ。  
結奈 人間  
寺田 そう、日本人。  
里帆 16歳  
結奈 16歳  
寺田 高校生  
鞍手 高校生  
里帆 性別は女  
結奈 女  
鞍手 女  
寺田 女！  
ほか えっ！  
寺田 俺は女だ！  
結奈 そうなの？！  
寺田 あはーん  
鞍手 うそつけ！  
結奈 うそなの？！  
寺田 失礼ね  
里帆 女って証拠は？  
寺田 そんなの要らない  
鞍手 なんで  
寺田 だって私は女だから！

---

里帆 男でしょ！  
寺田 あなたこそ男じゃなくて？  
里帆 (股間をさりげなくサツ) 女よ！  
鞍手 確認すんな  
寺田 確かに体は男。でもね、心は立派な女よ  
結奈 じゃあ、どうやって見分けたらいいの？  
寺田 見分ける必要ない  
鞍手 あるでしょ  
寺田 男女なんて関係ない。私たちはただの人間  
結奈 トイレどうするの？  
寺田 共用  
結奈 お風呂は！？  
寺田 一緒に  
結奈 えー！  
里帆 ど変態  
寺田 そうか？  
鞍手 ありえない  
寺田 ありえない？  
鞍手 体の構造から違う。生まれた時から不平等よ。  
寺田 例えは？  
鞍手 例えは、子宮。  
寺田 (自身の下腹部に手をあてる)  
鞍手 生理のしんどさ、あなたに分かる？ めんどくささが男に分かる？  
寺田 ……分からない。  
里帆 筋肉。  
寺田 え？

里帆 力じゃ勝てない。少なくとも、私は。

結奈 胸のふくらみ。母乳。(寺田を見て) 変だよ。

鞍手 うん、変。絶対におかしい。

寺田 何が。

里帆 頑丈にできてるほうが産めばいいのに。役目と負担が偏りすぎてる。

鞍手 約40週。

寺田 約、40週。

結奈 男と女

里帆 遺伝子

鞍手 血液

寺田 内臓

里帆 骨格

結奈 皮、肌の色

鞍手 体毛、髪の色

寺田 右手

各自、自分の身体を初めて見たかのように見て動かす。

里帆 左手

結奈 右足

鞍手 左足

自分の身体を確かめるように、

次第に、舞うように動き始める。

手を叩き、足を踏み鳴らし、歌い、叫び、踊り、

縦横無尽に走り出す。

しばらくして開幕時のポジションに戻り、

里帆 Good morning

結奈 我走了(ウォ・ツォ・ラ)

鞍手 Buen Provecho (ブエン・プロベチヨ)

寺田 (イムレーオ) ※表記の都合上省略

里帆 (チュカへ) ※

結奈 Merci (メルシー)

鞍手 Извините (イズヴィニーチェ)

寺田 Boa sorte (ボア・ソルチ)

里帆 おやすみなさい。

里帆以外の3人、ふっと力が抜けて床に眠る。

里帆に照明集まり、

里帆 「自殺」という言葉は、まるで誰かを殺したようだとわれ、

「自死」とも言われる。でもそれって変ですよ。たとえ自分で

あるうと、人を殺したことはないのに。その事実から

逃げるように名前を変えたって意味がない。むしろイメージ

アップ。それにその言葉を使うのは、自殺なんてしない人たち。

死ぬ張本人たちは名前なんて気にしない、だってそんなのどう

でもいいから。でもそんなことより、生きる義務を押し付けて、

死ぬ権利を奪う奴らが許せない。死にたい気持ちも聴かない人

こそ、人を殺します。「私の場合」。

鞍手 里帆

照明、戻る。

鞍手 里帆！

里帆 え？

鞍手 どしたのぼーっとして

里帆 ううん、課題のこと考えてた

寺田 夏休みだつてのに休みがないよな

結奈 部活もあるしね

鞍手 休まないの？

結奈 お盆くらい

鞍手 それってあれじゃん、ブラック部活

寺田 吹奏楽ってそんな大変か？

結奈 巧くなるには練習しなきゃ

鞍手 すごいねー

寺田 お前こそ

鞍手 なんで

寺田 家で勉強ばっかしてんだろ？

鞍手 してないよ

結奈 塾は？

鞍手 行くつもりない

寺田 それで常に校内1位ってんだからなー

結奈 天才だよー

鞍手 校内で1位とってたって仕方ないでしょ

2人 おー

寺田 言うことが違うね

結奈 ほんと

鞍手 夢があるから

里帆 なに？

鞍手 内緒

寺田 いいねー

結奈 あんたは写真家になるんでしょ

寺田 おう

鞍手 関心するわ

寺田 だろー？

鞍手 写真で食べていけるの？

結奈 生々しいね

寺田 分かるだろ？俺もやりたいから頑張るんだよ。勉強して、感性

磨いて、一流になるんだよ。

鞍手 芸術ってよく分かんない

結奈 良いよー？音楽は。

寺田 写真もな

鞍手 映画なら分かりやすいんだけど

結奈 そういえば演劇部の大会ってもうすぐだよな？

里帆 あ、うん

鞍手 時間決まった？

里帆 午後の1発目で、1時20分

結奈 週末だったら良かったんだけどなー

寺田 文化祭でやったやつか？

里帆 そうそう

寺田 あれ俺好きだわ。意味わかんないけど。

鞍手 不条理劇ね。

寺田 そうそう

結奈 超みたい

寺田 お前には難しい

結奈 そんなことないね

鞍手 里帆は将来脚本家？

里帆 そんな

鞍手 私も好きだよあの話。

里帆 ありがとう

寺田 え、あれお前書いたの！？

里帆 うん

結奈 知らずに観てたの？

寺田 いや、だつて出てたじゃん

里帆 書いた人が出ることもあるよ

寺田 へえー

結奈 ほんとは寝てたんじゃない？

寺田 お前じゃないんだよ

結奈 私ちゃんと観るし

寺田 どうだか

里帆 みんなは、

里帆以外ストップ。

里帆 みんなは生き生きしてる。息苦しい。行きたい道は無い、粹が  
することもできない。いきなり産まれて生きさせられて、私には  
なんにもない。生きるためには生きたくないから、死んだつて  
いいでしょ？ ね。

寺田 ……駄目だ

鞍手 いいよ

結奈 だめ

寺田 いいよ

鞍手 だめ

結奈 いいよ

3人 だめ！

里帆 うるさいっ！

間

里帆 生きるか死ぬかは私が決める

鞍手 ……いいよ

里帆 え？

寺田 辛かったな

結奈 頑張ったね

鞍手 わかるよ

寺田 そうだな

結奈 (里帆の背中をさする)

鞍手 死んだつていい

寺田 命を奪つても、いいよ

チャイム。昼食。

全員 いただきます！

結奈 お魚おいしー

寺田 牛肉うまつ

鞍手 鶏肉ヘルシーっ

里帆 ん！ その卵焼き美味しそうー

寺田 どれどれ（鞍手の卵焼きを奪う）

鞍手 あっ

寺田 んーうまい

結奈 私も（奪う）

里帆 私も（奪う）

鞍手 ……。

里帆 おいしー

鞍手 あ、そのウインナー美味しそう（寺田のウインナーを取る）

寺田 あっ

結奈 私も（奪う）

里帆 私も（奪う）

鞍手 んー、まずい！ もう1本！（もう1本取る）

寺田 ……

結奈 私も！

里帆 あー！ 無くなったじゃん！

結奈 早いもの勝ちー

寺田 お前のフォアグラ美味しそうだな！

結奈 えっ

里帆 ほんとだー

鞍手 味見だ！

3人、結奈の弁当箱に群がる

結奈 なくなっちゃった

寺田 まあまあだな

鞍手 薄味

里帆 苦手

結奈 ……ねえ、むかつくからさ、ちようだい。

結奈、カッターの刃を出す。

3人 え

里帆 ちよっ、待っ、キャー！！

結奈、里帆にカッターを振り下ろし、照明・シルエット。

寺田もカッターを取り出し、後方から結奈を刺す。

続けて鞍手もカッターを出して寺田を刺す。

鞍手以外、眠るように倒れる。

照明、鞍手に集まる。

鞍手 始まりは小学5年生。同じクラスの真奈美ちゃん。可愛くて、

お話が上手で、クラスの人気者。ある日彼女に手を引かれ、

夏祭りに行きました。ぼうっと燈る赤提灯、浴衣姿の男と女、

行き交う人の弾ける喧騒。焼きそばの匂いに交じる、甘いシャ

ンプーの香り。夜の世界はとっても綺麗で、少し大人になった

気分。打ちあがる花火。ピンク色に染まる真奈美ちゃんは、

とっても綺麗だった。「私の場合」。

寺田、起き上がる。

寺田 鞍手

鞍手 ん？

寺田 こないだの返事、どうかな

鞍手 ……ごめん。好きな人、いるから

寺田 3組の松本か？

鞍手 え？

寺田 それとも、2組の大納言か？

鞍手 ううん

寺田 あ、6組のアレサンドロか？

鞍手 内緒

寺田 ……幸せな奴だな

鞍手 そうでもないよ

寺田 わかった。幸せになってくれ

鞍手 なれたらね

寺田、上手に去る。

結奈、里帆、立つ。

結奈 いやほんとなんだって！

里帆 またまたー

結奈 藍も言っちゃってよ

鞍手 うん、昨日見たよ。一緒に帰ってるところ

里帆 たまたま！

結奈 違うんだなー

鞍手 手、繋いでたんだよ

里帆 ……

結奈 2人の後姿がね、こう、出来上がってたよね

鞍手 見てるこっちが恥ずかしかった

結奈 ねー

里帆 ごめん、私もう帰って死ぬわ

結奈 明日数学テストだよ

里帆 (中指を立てて、下手に去る)

鞍手 今回はどうだろ

結奈 ま、2日もあれば復活するでしょ

鞍手 そんなに早く？

結奈 恋愛中毒

鞍手 でも付き合ったことないんでしょ？

結奈 らしいね

鞍手 恋に恋してるって感じ？

結奈 あー、ぴったり

鞍手 でも良いよね

結奈 なに？

鞍手 人を好きになれないより、素敵だと思う。

結奈 藍は好きな人いないの？

鞍手 え

結奈 そういうの聞いたことないけどさ

鞍手 私は…

結奈 いるの？

鞍手 ……

結奈 いるんだー。誰？ 2組の大納言？

鞍手 ちがうよ

結奈 じゃあ6組の

鞍手 アレサンドロでもない

結奈 えー、じゃあー

鞍手 私ばかり答えてずるい

結奈 まあ、私はさ、ちよっと、怖いかな。男の人が。

鞍手 ……

結奈 ほら、色々あったじゃない？

鞍手 うん

結奈 だから、よくわかんない

鞍手 そっか

結奈 うん

間

結奈 よし、帰ろっか！

結奈、去ろうとしたところ、

鞍手 ねえ

結奈 ん？

鞍手 私、好きだよ

結奈 なに？

鞍手 真奈美のこと

結奈 ありがとう

鞍手 ちがう。

結奈 どしたの？

鞍手 ……好きなの

間

結奈 私が、男だったら良かったのにな

結奈、去る

鞍手、自分の身体を感じる

鞍手 女だから何？ 男だから何？ 私が決めたんじゃない。私が……！

鞍手の前に寺田と里帆がやってきて、

寺田 付き合ってくれ

里帆 はい

寺田 ご飯に行こう

里帆 うん

寺田と里帆により、とある男女カップルの物語が演じられる。

(おおまかな立ち位置を変えず、その場で演じる)

その様子を鞍手は遠くから見ている。

寺田 (徒歩、さりげなく車道側を歩くように位置を変える)

里帆 ありがとう

寺田 このお店にしよう

里帆 うん

寺田 いただきます



里帆 いただきます  
寺田 (食べる動作)  
里帆 美味しいね  
寺田 うん  
里帆 ごめん、お手洗い  
寺田 うん  
里帆 (去る)  
寺田 すみません、先、お会計。……ご馳走様です  
里帆 (戻ってくる)  
寺田 美味しかったね  
里帆 うん  
寺田 行こうか  
里帆 うん (財布を出す動作)  
寺田 いいよ  
里帆 駄目だよ  
寺田 もう払ったから  
里帆 えー。じゃあ今度は私がご馳走する  
寺田 手料理が良いな  
里帆 じゃあ、練習する  
寺田 楽しみだ  
2人、微笑む。  
里帆 (床から物を持ち上げる動作)  
寺田 持つよ  
里帆 ありがとう

---

里帆 (高い所から物を取る動作)  
寺田 取るよ  
里帆 ありがとう  
寺田 撮るよ  
里帆 (ピース)  
寺田 良いね (カメラを見ている)  
里帆 お待たせ (料理を並べる)  
寺田 良い匂い (床に座る)  
里帆 召し上がれ  
2人 いただきます  
寺田 (食べる)  
里帆 どう？  
寺田 (食べ続ける)  
里帆 頬張りすぎ  
寺田 (親指を立てる)  
里帆 良かった  
寺田 (里帆の手をとり) 結婚しよう  
里帆 はい  
寺田 (客席に向かい) 娘さんと、結婚させてください！ お願いします！  
里帆 (立ち上がり) 結婚かあ  
寺田 苗字、練習しなきゃな  
里帆 そうだね  
寺田 (跪いて、指輪を取り出す)  
里帆 (口に手を当てる)  
寺田 (手を差し伸べ、)  
里帆 (手を出し、)

寺田 (指輪をはめる)

里帆 (微笑む)

寺田 (指輪をはめた手をそのままゆっくりと里帆のお腹に当てる)

里帆 もうちよつと下

寺田 パパだよ

里帆 まだ聞こえてない

寺田 お前のママはな、世界で1番なんだぞ

里帆 たとえば？

寺田 優しい

里帆 ほかには？

寺田 美人だ

里帆 それから？

寺田 料理が上手い。気が利く。仕事ができる。話も面白い。でも

ときどき変だ

里帆 変ー？

寺田 良い意味で

里帆 なにそれ

寺田 いつもありがとう

里帆 こちらこそ、ありがとう。幸せです

間。

鞍手 おぎゃあ

鞍手、お腹に手を当てる。

結奈、ゆっくりと出てくる。

結奈 私たち、女だよ？

鞍手 分かっている

結奈 分かっている？

鞍手 分かっている

結奈 ……なら、良いよ

鞍手 え？

結奈・鞍手、抱き合う。

寺田・里帆、微笑んで拍手。

抱き合った2人、そのまま膝をつく。

寺田と里帆は拍手を止め、結奈と鞍手を睨みつけ、

上・下手にそれぞれ去っていく。

照明・シルエット。

残った2人は更に絡み合い、ゆっくりと横たわる。

暗。

明。舞台には結奈。

結奈

中学の頃からです。私は勉強ができなくて、みんなにクスクス笑われました。先生も溜息をつきます。でも、お父さんだけは、抱きしめてくれました。誰も私を怒らない。なんでだろう。お母さんがいないから？　なんでだろう。黒板に書いてある数式が、滑り台やブランコに見える。なんでだろう。クラスメイトは泣いているのに、私は涙が出ない。一緒に笑えない。笑わなくていい時に笑っちゃう。なんでだろう。「私の場合」。

寺田がやってきて、

寺田 座って

結奈 うん

寺田 今日は学校どうだった（結奈の背中をこする）

結奈 どうって？

寺田 楽しかったか？

結奈 あ、今日ね、演劇部のみんなと「当たり前前ってなんだ」っていろいろの

考えた

寺田 なんだそれ

結奈 寺田っていう男の子がいてね、突然言い出したの

寺田 面白い子だな

結奈 お父さんに似てた

寺田 気のせい気のせい

結奈 でね、思ったの

寺田 うん

結奈 私には、当たり前前ってよくわかんないなーって

寺田 父さんも、よくわからんよ

結奈 お父さんでも分かんないことあるの？

寺田 あるぞ。

結奈 例えば？

寺田 宇宙人はいるか

結奈 え、いるいる！ 絶対いる！

寺田 なんてそう思う？

結奈 いた方が絶対楽しい！

寺田 そうだな。俺たちだって宇宙人だしな

結奈 え！？

寺田 え

結奈 日本人じゃないの？

寺田 日本人だよ

結奈 なんだ日本人か

寺田 地球だって宇宙に浮かんでるんだ。宇宙に住んでるんだよ。

結奈 なるほどー

寺田 広い宇宙に、ほかの生き物がいてもおかしくない。

結奈 ねえ、窓開けていい？

寺田 いいぞ

結奈（窓を開ける）ふいー、涼しい

寺田 星、見えるか？

結奈 うん！

寺田 今日ならペルセウス座流星群が見れるかもな

結奈 ペルペル流星群？

寺田 ペルセウス座流星群。こっちは北東だから、ちょうど放射点だ。

結奈 流れ星か

寺田 まだ時間が早いけど、ちよつと電気消してみるか

結奈 うん！

舞台、薄暗く。天には星がきらめく。

寺田 こういうとき、田舎は良いな

結奈 ねえ

寺田 ん？

結奈 お母さんってさ、私の顔、見たことある？

寺田 ……あるよ。

結奈 そっか

寺田 お前を見て、笑いながら泣いてたよ

結奈 ……そっか！

星が流れる

結奈 あっ！ 今、見た！？

寺田 見た！

結奈 見たー！

寺田 母さんはな、今でも空から見てるよ

結奈 ありがとう、お母さん

寺田、座る

結奈 お父さん

寺田 ん？

結奈 もう、お父さんとお風呂入るのをやめる

寺田 どうかしたか？

結奈 足りない脳みそで考えた。私、お父さんに心配されなくらい、

強くなる。お母さんいないし、私、ちょっと馬鹿だけど、

寺田 そんなことない

結奈 強くなるから。

寺田 (何度も頷く)

結奈 ほら、もう高校生だし、蹴ったり石ぶつけて来る人いないから。

ね、大丈夫。もうアザとか無いでしょ？

寺田 そうだな

結奈 今までありがとう

寺田 (首を横にふる。満面の笑み)

そこへ後ろから里帆が寺田を引っ張り袖まで追いやり、戻ってきて、

里帆 あのさ

結奈 はい

里帆 困ってるんだけど、助けてくれない？

結奈 はい

里帆 彼氏に妊娠させられて、おろすのに50万いるんだわ

結奈 はあ

里帆 お金貸して

結奈 えっと、家族とか、

里帆 アンタに頼んでんのよ

結奈 あ、ああ

里帆 いくらある？

結奈 えっと

里帆 返すから

結奈 でも

里帆 早く

結奈 はい。あ、いや

里帆 早くしないとおろせなくなるでしょ！

結奈 はいっ……！ (渡す)

里帆 ありがとう

里帆、去る。

寺田、鞍手の腰に腕を回してやってくる。

寺田 なあ、ちよつといいか

結奈 うん……

寺田 こちら、

鞍手 亜美です。お世話になってます。

結奈 こんばんは

鞍手 子供、大きいね

寺田 え、言ったよね

鞍手 あなた、結構色気あるね（結奈の体を触る）

結奈（びくつき、振り払う）

鞍手（舌打ち）

寺田 あ、あのな。亜美さんと、父さん、付き合ってるんだ。

結奈 え

寺田 もう半年になる。

鞍手（寺田の頭を撫でる）

結奈 ……

寺田 言っておこうと思って

結奈 なんて……？

寺田 え？

結奈 なんてよ

寺田（ニヤけて）結奈、父さんな、

結奈 気持ち悪い……

寺田 ……

結奈 最っ低

結奈、寺田から目を離さない。

その目には軽蔑や拒絶、強い意思がこもっている。

鞍手（鼻で笑って、家の中に勝手にあがる）

結奈（服のすそを引っ張って止める）

鞍手 なに？

結奈 勝手に入らないで、下さい

鞍手 どうして？

結奈 家族じゃないです

鞍手 安心しなさい、もうすぐなるわよ

鞍手、結奈の手を振りほどき、奥へ進む（去る）。

結奈、寺田を睨みつける。

寺田 なあ

結奈 私が大人になるまで、こういうの言ってたよね？

寺田 でもな、

結奈 でもじゃない！

寺田 ……

結奈 うそつき

寺田 結奈（触れようとする）

結奈 やめて

寺田 なあ

結奈 キモいよっ……

寺田 ……

結奈 お父さんに、裸見られたり、触られるの、嫌だった……!!

結奈、駆けて出て行く。

鞍手が出てくる。

鞍手 どういうこと？

寺田 え？

鞍手 裸見られたり、触られるって

寺田 違う。別に変な意味じゃなくて

鞍手 帰る

寺田 ちょっと、待って

鞍手、去る。追いかけて去る寺田。

結奈、駆けてきて止まり、赤ん坊のように泣く。

結奈 おかあさああああああんんん……!!!!

星がいくつも流れる。

シルエット。

しばらくの間の後、溶暗。泣き声はやまず。

やがて静まる。

明。

寺田が立っている。

寺田 高校1年のときでした。クラスにコマル君という丸眼鏡の太っ

た奴がいました。入学して1カ月が過ぎた辺りで、彼の様子が  
おかしいことに気づきます。「俺の場合」。

寺田、客席を向いて席に座る。授業中。ふと、

寺田 俺の前の席に座るコマル君の体が、入学した頃よりも随分大き

くなっていました。黒板が見づらいほどに。俺は軽い気持ちで

コマル君に言いました。「黒板見えない。ちょっと痩せれば？」。

何気ない一言でした。それを聞いていたクラスメイトは大爆笑。

みんな悪乗りして

鞍手 「とんかつばっか食ってるからだろ」

里帆 「ぶーぶー」

結奈 「今日の弁当はキャベツか？」

寺田 と、からかいました。彼の実家はとんかつ屋で、俺も何度か

行ったことがありました。

鞍手 「ほれほれ」

里帆 「相撲とろうぜ」

寺田 最初のうちはコマル君のお肉をつんつんしたり、相撲をとった

り、みんな楽しそうでした。俺も1戦交えます。

結奈 「はっけよーい、のこった！」

寺田、一人で相撲をとる。投げ飛ばされる。

寺田 誰もコマル君に勝てない。隣のクラスの大納言君でも勝てない。

鞍手 「コマル君すごい」

里帆「入門したら？」

結奈「ぶにぶにー」

寺田 学年でのコマル君人気は高まりました。けれど、黙っていない奴がいました。6組のアレサンドロです。彼は2度もコマル君に負けています。しかもそれを女子に見られて屈辱でした。

鞍手「アレサンドロくんってもしかして」

里帆「弱い？」

結奈「ださーい」

寺田 プライドを傷つけられたアレサンドロ。矛先は、コマル君へ。

女子を使って

鞍手「コマル君。今日の放課後、体育館倉庫で待ってる」

寺田 コマル君を暗がり呼び出した。そして後ろから首を絞め、倒して、頭を殴る。仲間が腹や背中を蹴る、唾を吐く。その日からです、コマル君への扱いが、ひどくなっていったのは。

鞍手「また太ったか？」

里帆「何キロ？」

鞍手「お前の店赤字じゃねーの」

寺田 初めはアレサンドロ一味だけでした。でも1週間もすれば、みんな同調し始めて……

鞍手「デブ」

里帆「子豚ちゃん」

結奈「痩せろ」

寺田 黒板見えないって

鞍手「コマル君って優しいよねー」

里帆「いじられ役だよねー」

結奈「いつでも笑ってるよねー」

寺田 だからさ、黒板、見えないって！ 邪魔！

鞍手「邪魔」

里帆「邪魔」

結奈「邪魔」

寺田（縄を跳びながら）高さもつと！ちよ、低いよ！（ひっかかる）  
コマルさ、もつとこう、下からぐいんって感じで、大きく回してよ縄。なあ、疲れんの早くね？

鞍手「ぶにぶにー」

里帆「はい、残飯」

結奈「ダイエツトしないでね、コマル君そのままカワイイから」

寺田 数ヶ月して、やっと席替えになりました。

鞍手「やっただー」

里帆「後ろがいいなー」

結奈「コマルの後ろとか」

3人「やだー」

寺田（むすつとした表情。しかし気を取り直し、くじを引く）山口さんの隣こい、隣、こい、こい！

鞍手 寺田、心の声漏れてる

寺田（引く）おおおっしやああああ！ やまぐつちさああん！

寺田、立方体を1回転させて座る。

寺田 よろしく、山口さん！

寺田、鼻歌を歌う。

寺田 あ、山口さん、俺ね、演劇部入ってるんだけど、今度体育館で上演するんだよ。安藤も出るし、良かったら友達つれて観に……

寺田、遠くに座っているコマルの顔を見る。  
教室内の喧騒消える。照明寺田に集まる。

寺田 初めて見た。これまで見たことの無い顔で、コマルは座っていた。今までずっと、あんな顔で教室にいたのか？ あんな悲しい顔で座っていたのか？ 俺は彼の大きな背中しか見てこなかった。背負っているものに、気づきもせず。

鞍手 「えーうそ、コマルの後ろじゃん」

結奈 「いいじゃん隠れられて」

鞍手 「でも（耳打ち）」

結奈 「あー（クスクス）」

里帆 「なになに」

結奈 「いや、あのね、」

寺田 やめろよ、

結奈 「コマル君の近くって、」

寺田 やめろおおおおおっ！！

間

寺田 コマル……お前、お前つらいよな？ つらいに決まってるよな？  
なのに、なんでそんなに笑ってんだよ……泣きたきや泣けよ！  
なあ？ なあコマル。コマル？ おい、行くな、行くなコマルー！

暗。

鞍手 それから1週間後のことでした

里帆 屋上から飛び降りて

結奈 コマルは自ら命を断った

蝉の声。明。

寺田、舞台下手後方でしゃがみ、手を合わせている。

寺田 俺が、ちょっと横にズレたら良かったんだよな。

寺田、声なく泣く。蝉の声F.O。

結奈と鞍手、里帆に絡みながらやってくる。

寺田は動かず様子を見ている。

鞍手 ねえ今月本当キビしいのよー。お願いだからさあ、金、また盗んできてくんない？

結奈 あ、修学旅行のお土産ヨロシク。4人家族ね。

鞍手 うち6人だから。

結奈 あとさ、2日目の夜、先生に告白しな。

鞍手 誰でもいいよ、選ばせてあげる。

結奈 あ

結奈、草むらのコオロギを捕る。

結奈 ねえ、コオロギ、好き？ ねえ、コオロギ！



里帆、口にこおろぎを押し込まれる。  
笑う2人。

鞍手 あんたさ、日本人じゃないでしょ

結奈 なんか汚いよね

鞍手 臭いし

結奈 キモいし

2人 ウザい

鞍手 聞いてんの？（里帆の髪をつかむ）

結奈（動画を撮り出す）

鞍手（里帆に顔を寄せてピース）

結奈 スカート脱いで

里帆（顔を横にふる）

鞍手 脱げよ

結奈 さっさとしろよ出来損ない。見ててイライラすんだよ

鞍手、カッターで里帆の髪を切る。

鞍手 ねえアンタさ、なんでまだ部活くんの？

結奈 邪魔だよ

鞍手 超邪魔

結奈 辞めやすいようにシカトしてやってんじゃん？

鞍手 ねえ、聞いている？ 剛毛ちゃん

結奈 フケすごいよ

鞍手 吸っちゃう吸っちゃう

結奈 ニキビもやばいってそれ、うつるうつる

鞍手 ふざけんよ

結奈 なんでそんな汗臭いの？

鞍手 ゴミ

結奈 生ゴミ

鞍手 書いといたげるよ（ペンを出して里帆の頬に落書き）

結奈 はーい、じゃあ今度は自殺の練習するよー。

鞍手 はい、手首に当てて（里帆にカッターを握らせようとする）

里帆 嫌……！

鞍手 は？

里帆 そんなこと、しない

鞍手 ゴミの癖に偉そうなこと言ってるなよ！

寺田、3人に近寄って、

寺田 何やってる

結奈 先生、こんにちわ

寺田 ……何してた

鞍手 話してただけです

里帆 違う

結奈 違います

寺田 どっちだ

里帆 いじめです

鞍手 もう大袈裟なんだから

結奈 じゃれてただけですから

里帆 先生。助けて。

寺田 ……勘違いじゃないのか  
里帆 ……  
寺田 行きなさい

里帆、去る

結奈 先生、本当は見てたでしょ  
寺田 さっさと帰れ

寺田、去る。音楽。

鞍手 悪い大人  
結奈 だね

2人、笑って去る。舞台シルエット。  
順番にゆつくりと歩きながら入ってきて、

寺田 何もない。時間も自我も人生も、入り乱れて交わって交わって  
交わって、

里帆 交わって交わって交わって  
結奈 重なって重なって重なって  
鞍手 繋がって繋がって繋がって  
寺田 誰でもない、何かに成るんだ

チャイム。同時に薄明り。

結奈 あ、もう4時半だよ  
鞍手 よし、緞帳上げよっか  
結奈 うん

鞍手、結奈去る。

里帆 寺田  
寺田 んー……？

里帆 最近どうしたの

寺田 何が

里帆 なんか、から回ってるよ

寺田 うるせえな

鞍手 緞帳あげまーす

ほか ハイ！

里帆 ……最近、なんかあった？

寺田 ない

里帆 じゃあ真面目にやってよ

寺田 やってるだろ

里帆 やってない

寺田 脚本書くために、無駄なことしてるか？

里帆 してない

寺田 じゃあ

里帆 でも、最近なんか変だよ

寺田 進路のことで、ちよつとな

里帆 教師になるんでしょ？

寺田 ……

里帆 おうちの問題？  
寺田 気にすんな

寺田、去ろうとして

里帆 寺田らしくない

寺田（止まり）俺らしいってなんだ？

里帆 え？

寺田 奥原らしいって、なんだ？

里帆 なに、急に

寺田 俺はお前にはなれない

里帆 それはそうでしょ

寺田 俺は俺でいいのか？

里帆 当たり前じゃん

寺田 どこまで

里帆 どこまでも

寺田 お前はお前でいいのか？

里帆 ……いい

寺田 どこまで

里帆 どこまでも

寺田 分かり合うには、ひとつにならないといけない。だけどひとつ

つになつたら、俺は一体どこへ行く、何になる。

里帆 ほかの人がいるからって、寺田が消えることはないんだよ。

寺田 そんなの上っ面じゃないか。相手を認めても、相手にならない限り

バラバラのままなんだよ。でも相手になつたら俺は俺じゃなくなる！

里帆 よくわかんないよ。

寺田 演劇の、役作りと同じことだ。

里帆 ……とにかく、私はここにいる。寺田もこのままここにいて。

寺田 こっつてどこだ。

里帆 体育館の、ステージの上。

寺田 ……違う。

里帆 え？

寺田 ここは、教室だ。

チャイム。

結奈入る。

結奈 おはよー！

里帆 え

結奈 数学の課題終わった？

里帆 ……

結奈 昨日2時までやったけど分かんなくって、里帆ちゃん一生のお

願い！ 教えて！

里帆（寺田を見る）

結奈 え、まさか寺田先生に聞けつていうの？

里帆 寺田、先生？

結奈 うん。え？ 見えない！？

寺田 宿題は自分でやれー

結奈 はあーい

寺田、去ろうとして

里帆 寺田！  
寺田 おーくーはーらァー。寺田先生だろう  
里帆 ……  
寺田 なんだ、どうした  
里帆 (首を横に振る)  
寺田 具合悪いのか  
里帆 いや、なんでも、ありません

寺田、去る。

結奈 どしたの？  
里帆 これ、夢？  
結奈 これって、これ？  
里帆 うん  
結奈 え、これ夢なの！？  
里帆 いや、わかんない  
結奈 なんで夢なの？  
里帆 いや、だつてさっきまで部活してたし、寺田は生徒だし……  
結奈 部活？  
里帆 結奈もいたじゃん  
結奈 何部？  
里帆 演劇部。  
結奈 ー？ 私吹奏楽部だよ？  
里帆 え？  
結奈 それに里帆ちゃん、部活やってない  
里帆 ？

結奈 寺田って生徒もいないよ？  
里帆 いや、いるじゃん、あの馬鹿な奴  
結奈 ー？

鞍手、入る。

結奈 あ、藍ちゃん良いトコに！  
鞍手 なに  
結奈 里帆ちゃん変なの  
鞍手 おはよ  
里帆 おはよう  
鞍手 顔色悪いね  
里帆 ねえ、私たち演劇部だよ？  
鞍手 ……  
結奈 ほら  
鞍手 私、部活やってないよ。  
里帆 なんて？  
鞍手 忙しいから。  
結奈 ねえ、寺田って生徒いたっけ？  
鞍手 先生じゃなくて？  
結奈 うん  
鞍手 さあ、知らない  
結奈 だよ  
鞍手 何かあったの？  
里帆 じゃああれは？ 4人でやったじゃん、当たり前を定義するって  
結奈 当たり前をテイギ？

鞍手 保健室いく？

里帆 待つて待つて、なに、私がおかしいの？

鞍手 これ何本？（指を立てる）

里帆 2本

鞍手 じゃあ今日の日付は？

里帆 今日は……あれ？

照明、里帆に集まっていく。

鞍手と結奈、静かに去る。

里帆 確か、大会の台本書く為に話し合っていて……あれ？ 結局ど

うなったんだっけ。なんで教室にいるんだ？ 思い出せない。

いつから？ 体育館にいて、4時半になったから緞帳をあげて……

祭りの喧騒が聞こえてくる。里帆、周囲を見渡す。

舞台は夏祭り。

ひよつとこの面をかぶった寺田が鐘を鳴らしてやってくる

寺田 ヘイらっしやーい！ 焼きそば食べてってよ！ うまいよー？

里帆 寺田……

寺田 おっとお嬢ちゃん人違いだぜ？ オレア2組の大納言マサオだよ！

里帆 何言ってるの

里帆、面をとろうと奮闘するが、

カバデいの動きで悉くかわされてしまう。

寺田 神社正面、派手な看板目印よ！ 来てみてらっしやい天下第一品、

大納言焼きそば！ さーア買った買ったー！

寺田、宣伝しながら去る。鞍手が走ってくる。

鞍手 おまたせー！

里帆 ……

鞍手 ごめん、待った？

里帆 藍、ちゃん？

鞍手 うん？

里帆 鞍手藍ちゃん？

鞍手 なんでフルネーム

里帆 私、奥原里帆でいいんだよね？

鞍手 誰それ

里帆 ……

鞍手 ははーん、財布も忘れたとか言うんでしょ。ケチだねー。確かにお祭りはぼったくりだけどき、こういうときこそ奮発しないと。あつちにカステラ売ってるから行こう。

鞍手、里帆の手を掴んで行こうとするが、

里帆 ごめん藍ちゃん。

鞍手 ん？

里帆 私、誰……？

鞍手、里帆の目を見つめる。

鞍手 あなたはコマル君。

里帆 ……何？

鞍手 小丸雅弘。

里帆 (ふらつく)

鞍手 (支えて) 大丈夫？

里帆 私、頭おかしくなっちゃった

鞍手 具合悪い？

里帆 マサヒロって、誰？

鞍手 あなたの名前。

里帆 男？

鞍手 なに？ オトコって。

里帆 ……

鞍手 オトコだか奥原だか知らないけど、あなたはコマル君！ ねえ、

もう帰る？ 花火はまた別の所でいいし。

里帆 ねえ、私って、高校生？

鞍手 …… (顔を横に振る)

結奈、走って出てくる。

結奈 おかあさあーん！！ (里帆に抱きつく)

里帆 えッ

鞍手 冗談キツイわよ？

寺田 あ、どうも

鞍手 久しぶりね

寺田 今年もお邪魔します

鞍手 気兼ねしないでね

寺田 ありがとうございます

鞍手 週1でもいいのよ？ 結奈ちゃんに会えて嬉しいんだから

結奈 私もおばさんに会えてうれしいー

鞍手 おばさんー？

結奈 あ、お姉ちゃん

鞍手 そうそうー

地面にへたれこむ里帆。

寺田 (里帆に) どうした真奈美。

里帆、笑う。

結奈 お熱ー？ (里帆のおでこに手を当てる)

鞍手 暑さでおかしくなった？

里帆 (頷く)

寺田 今日はずっと外にいたもんな。

鞍手 うちでゆっくりして。

寺田 大丈夫か。

里帆 ううん。大丈夫じゃないや (笑い続けている)

結奈 お母さん。だあーいすき！

強く里帆の身体にしがみつくと結奈。

そこへ花火の音。

結奈 流れ星ー！（しがみついたまま）

寺田 夜空にまあるく打ち上がる（背後から里帆の頭部を両手で固定）、

鞍手 流れ星（里帆の首を両手で絞める）。

左右、後方から取り囲まれて締め付けられている里帆。ひとときわ

大きな声で、しぼり出すように笑う。泣いているようにも見える。

次々打ち上がる花火（音に加えて照明の変化もあればより良い）。

花火はまるで銃火器の音や光のよう。里帆は撃ち抜かれているかのよう  
うに、苦悶の表情で徐々に体勢を倒してうづくまる。結奈、鞍手も

横たわる。寺田は立ったまま、だらりと、うなだれている。

無音。

少し顔を上げて、

寺田 混沌だ

ゆっくりと、ほか3人も顔を上げながら

里帆 混ざりきることのない

結奈 カオス。

鞍手 80億のアイデンティティ。

4人それぞれ、虚ろな表情で、這ったりよろめきながら離れていく。

寺田 相容れぬ信条が、

里帆 情動が、

結奈 慣習が、

鞍手 せめぎ合う。

寺田 1つの器が

全員 80億

里帆 1つの器に

全員 80億

結奈 個は死に調和が保たれる。

鞍手 はず

寺田 だった。

やがて力尽き、胎児の様に丸くなり、目を瞑って動かなくなる。

長い間。

遠くから心臓の音。次第に大きくなっていく。

4人、同時に大きく息を吸い込むと、

心音が赤ん坊の泣き声に変わると同時に、

曲（Sigur Ros 『Festival』※4分40秒から）F.I.

4人、自分のヘソの緒を手探りで掴み、

ロープのように手繰って立ち上がるとうとする。

ゆっくりと目を開け、完全に立ち上がる。

遠くを見つめて、ふっと微笑む4人。

里帆 おはよう。

4人、走り出す。

結奈 行ってきます！  
鞍手 いただきます！  
寺田 ごちそうさま！  
里帆 おめでどう！  
結奈 ありがとう！  
鞍手 ごめんなさい！  
寺田 おつかれさま！  
里帆（止まって）おやすみ。  
結奈（止まって）頑張る。  
鞍手（止まって）大好き。  
寺田（止まり、曲の※7分31秒で、客席に手を差し出す）踊ろう。

それぞれ感じるがまま手を鳴らし、足を踏み鳴らし、歌い、跳び、叫んで、走って、踊って、ひたすら生命の歓喜に溢れ、

会場全体を幸福で圧倒する(contemporary dance)。各自創作。

※原曲の時間。要編集。

里帆 踊ったっていいじゃない！  
結奈 叫んだっていいじゃない！  
鞍手 走ったっていいじゃない！  
寺田 笑ったっていいじゃない！  
里帆 地球が丸いわけじゃない！  
結奈 空を飛べるわけじゃない！  
鞍手 宇宙人なんているわけじゃない！  
寺田 生きる意味なんてあるわけじゃない！

4人 なんだっていいじゃない！！

4人、自己表現を続ける。

曲の終わりと共に、幕。